

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	780-1404
平成18年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	柳川 宝
平成19年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	江成 博
事務事業名	集中浄化槽維持管理補助事業				
予算上の事務事業名	集中浄化槽維持管理補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				
施策名	第2施策 環境負荷の低減を進めるしくみづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則 相模原市集中浄化槽維持管理経費補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
浄化槽による生活排水の適正な処理を推進し、公共用水域の水質汚濁の進行防止及び生活環境の保全を図ることを目的とする。			(2) 対象(誰、何)		
			又野道下水道管理組合 又野行人塚・削原集中浄化槽利用者組合		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
集中浄化槽を管理する2団体に対し、維持管理に要する経費の一部を補助した。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費			4,743	3,400	3,400
一般財源			1,000	1,000	1,000
受益者負担金			3,743	2,400	2,400
その他の特定財源			0	0	0
人件費の合計			0	0	0
事業コスト合計			4,743	3,400	3,400
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	集中浄化槽維持管理補助事業			対象名称 と単位	維持管理組合(組合)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			4,743	3,400	3,400
対象数			2	2	2
単位あたり経費(円)			2,371,500	1,700,000	1,700,000
前年度比				0.72	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	組合数	指標式と指標の説明		集中浄化槽維持管理経費補助金の申請件数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			2.0		
目標			2.0	2.0	2.0
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	点検等実施回数	指標式と指標の説明		保守点検延べ60回、法定検査延べ2回の実施により浄化槽の適正な維持管理が推進される。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			62		
目標			62.0	62.0	62.0
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	] : 良好な状態を維持する事業			
	[	] : 概ね良好な状況である事業			
	[	] : 見直しを行う必要がある事業			
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		下水道未整備地区における集团的な生活排水処理対策として設置された集中浄化槽の適正な維持管理が図られている。しかし、公共下水道使用料、個々の浄化槽の維持管理費などと比較し、補助制度について、今後、検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
合併時の「補助金取扱い」調整方針が市全域の均衡を保つこととされていることから、補助対象が津久井町地域のみとされているため廃止を含めた検討を行う。			下水道整備まで長期間を要する地域のため、補助金廃止となった場合、公共下水道利用者と比較し負担の不均衡が生じてしまう。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			